

平成26年度予算の概要

会計名	26年度予算額	25年度予算額	比較	増減率 (%)
一般会計	952億円	898億円	54億円	6.0%
国民健康保険事業会計	237億1,400万円	233億5,400万円	3億6,000万円	1.5%
後期高齢者医療会計	43億6,600万円	41億1,000万円	2億5,600万円	6.2%
介護保険会計	139億5,100万円	134億5,700万円	4億9,400万円	3.7%
老人保健施設会計	1億2,023万8千円	7,165万8千円	4,858万円	67.8%
病院施設会計	2億6,191万円	3億3,173万3千円	△6,982万3千円	△21.0%
合計	1,376億1,314万8千円	1,311億2,439万1千円	64億8,875万7千円	4.9%

10,000円の使われ方

平成26年度一般会計当初予算額を1万円に換算して目的別に表したものです。

民生費3,860円
高齢者や児童、障害のある方、生活に困っている方の福祉にかかる費用
主な事業：生活保護、障害福祉サービス、臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金、自立促進

教育費1,480円
学校・保育園の整備・運営や生涯学習の振興にかかる費用
主な事業：地域体育施設整備、忍岡中学校仮校舎設置、(仮称)谷中防災・コミュニティ施設併設児童館等整備、小規模保育施設の誘致、荒川河川敷運動公園運動場管理運営

総務費1,440円
災害時の対策、区民利用施設の運営にかかる費用
主な事業：(仮称)谷中防災・コミュニティ施設の整備、社会保障・税番号制度対応システム構築、災害対策本部機能の充実

衛生費820円
健康づくりや環境の保全・清掃事業にかかる費用
主な事業：ごみ収集作業運営、予防接種、総合健康診査

土木費650円
まちづくりの推進や道路・公園の整備にかかる費用
主な事業：電線類地中化モデル実施、雷門地下駐車場運営・上野中央通り地下駐車場運営、特色ある公園の整備、浅草橋駅周辺環境整備、緑と水辺を活かす隅田公園づくり(園地整備)

その他1,220円
特別会計への繰出し、区債の償還などにかかる費用、区議会の運営にかかる費用

文化観光費150円
文化・観光の振興にかかる費用
主な事業：稽古場整備、旧東京音楽学校奏楽堂改修

産業経済費380円
地域産業の振興や消費者保護にかかる費用
主な事業：台東区産業振興事業団事務室整備

予算特別委員会での主な質疑

予算全般

- 問 今後、起債や基金をどのように活用していくのか。
- 答 起債については、今後見込まれる施設の大規模改修等に活用し、基金については、大規模改修等に対する公共施設建設基金のほか、急激な財源不足等には、財政調整基金等を活用していく。
- 問 法人住民税の一部国税化について、区長会、議長会が共同して政治問題化すべきではないか。
- 答 法人住民税は極めて重要であり、今後とも区長会が一丸となって、議長会や都とも緊密に連携を図り、反対に向けて取り組んでいく。
- 問 補助金の適切な執行の取り組みについて、補助金に関する監査報告に対して、どのような改善を行ったのか。また、補助金交付団体への指導力の向上をどう図るか。
- 答 24年度の監査委員の意見を踏まえ、補助金交付等に関する基本指針に基づき、要綱の改正を行い、適切に対応していく。補助金交付団体については、補助事業の目的の達成に向け、誠実な取り組みに努めるよう求めていく。

歳入

- 問 様々な歳入確保策に加え、区の主要財源である特別区民税の増収に向けた取り組みが必要と考える。歳入確保に向けた取り組みをどのように進めていくのか。
- 答 行政経営推進プランの改定にあたり、歳入確保の観点も含め、取り組み項目を十分に検討し、行政経営の一層の推進を図っていく。特別区民税については、様々な施策を総合的に推進していくことで、その増収を図っていく。

歳出

- 問 国や地方公共団体が行ってきた行政サービスや社会課題の解決を、個人や企業、NPO等が実現していく動きがある。このような「新たな公共」を支援し、活かしていくべきではないか。
- 答 改定した協働指針に基づきガイドラインを策定するほか、職員研修を充実していく。また、中間支援

- 組織の設置について検討を進め、協働の更なる推進を図っていく。
- 問 区長は、平和首長会議に参加し、どのように行動していくのか。
- 答 東京大空襲から70年目の節目の年にあたることから、26年度に新たに平和首長会議に参加する。加盟後は、各都市の情報収集や情報交換等を積極的に行い、本区の平和への取り組みをより一層深めていく。
- 問 生活保護について、就労支援に力を入れ、自立を促していくべきではないか。
- 答 ケースワーカーによる就労に向けた助言や指導のほか、就労支援員によるカウンセリング等、様々な取り組みを進めてきた。今後も、本年7月に創設される給付金制度を活用するなど、就労による自立の促進に一層努めていく。
- 問 健診を受けようキャンペーン及びがん検診受診率向上対策について、健診は、自身の健康づくりにつなげていくためのものであることを周知すべきではないか。また、今後のがん検診のあり方をどう構築していくのか。
- 答 キャンペーンでは、定期的な健診受診の大切さなどについて、講演会やポスター等により周知し、意識向上につなげていく。がんの早期発見、早期治療につながる質の高いがん検診のあり方について、引き続き検討を行っていく。
- 問 妊産婦支援について、様々な事情が多様化する中で不安を抱え、手助けが得られない中で次の出産に臨む人も多い。本区における産後ケアについて検討すべきではないか。
- 答 乳児家庭全戸訪問等において、産後の健やかな回復と育児への支援を行っている。今後も妊産婦一人ひとりに寄り添い、出産後の不安の軽減を図り、安心して子育てができるよう、きめ細かな支援をし、産後ケアの充実に努めていく。
- 問 演劇・芸能のまちについて、芸能プロダクションの誘致等、より積極的に推進してはどうか。
- 答 本区は、古くから大衆演劇・芸能のまちであり、こうした魅力をさらに高めていくため、にぎわいの創出、新しい才能と人材の発掘、まちの魅力づくりに力を入れてきた。今後も、演劇・芸能への取り組みを推進していく。
- 問 近隣住民とコミュニケーションを図り、商店街の魅力伝えることで、来街者の増加を図るような取

- り組みを支援すべきではないか。
- 答 各商店街においては、特性を活かしたイベントの実施等を通じて、魅力を伝える取り組みを行っており、区も積極的に支援している。また、店主等が講師となり、お客様とのコミュニケーションを図る事業を検討している商店街もある。こうした取り組みを積極的に支援していく。
- 問 住宅マスタープラン策定のための基礎調査の結果を踏まえ、今後の住宅施策にどのように取り組んでいくのか。
- 答 多様なニーズに対応した住環境の整備、住宅の質や居住環境を向上させるための支援を通じて、区民の継続的な区内居住を推進していく。
- 問 住宅マスタープランに空き家の利活用策を位置付け、推進してはどうか。利活用に係る取り組みの方向性はどうか。
- 答 利活用可能な空き家は、新たな住宅マスタープランにも位置づける方向で検討を進めている。マイホーム借上げ制度の導入等を通じた取り組みを進めていくとともに、国において検討中の指針等にも注視しつつ、本区の実情に応じた空き家対策に努めていく。
- 問 スーパーティーチャーの育成について、どのように展開していくのか。
- 答 校長が受講者を推薦しやすく、受講者が参加しやすいように環境を整え、次世代を担う中核となる教員・保育士の育成に努めていく。
- 問 災害時における幼稚園・小学校・中学校が相互に連携した防災教育を推進すべきではないか。
- 答 子どもたちが自分の命を守るとともに、身近な人を助ける行動力を身に付けることは大変重要である。今後も命の大切さと合わせて、防災教育の充実に取り組んでいく。
- 問 介護保険制度の改正について、要支援者に対する介護予防給付が、各自治体の地域支援事業に移行される制度改正を止めるよう、国に対して求めるべきではないか。
- 答 これまでも特別区長会等を通じ、要支援者のサービス低下につながらないよう、自治体が安定的に制度運用できることなどについて、適宜要望してきた。今後も、国の動向を注視しながら、必要に応じて要望していく。

区議会からのお知らせ

たいとう区議会メールマガジンの配信について

台東区議会では、区議会の会議日程や質問予定議員等の情報をお届けするため、たいとう区議会メールマガジンを配信しています。登録は無料です。

登録のためのアドレスは次のとおりです。ぜひご登録ください。

<http://www.anshin-bousai.net/taito/>

区議会インターネット録画中継について

台東区議会では、議会活動を広く区民の皆さまにお知らせするため、区議会における一般質問等のインターネット録画中継を実施しています。

アドレスは次のとおりです。ぜひご覧ください。

<http://www.kensakusystem.jp/taito-vod/>

CATV議会放送について

第2回定例会(6月3日~6月25日開会予定)における区長発言・各会派の一般質問をJ:COM台東【11ch】で録画放送いたします。放送予定は次のとおりです。ぜひご覧ください。

○区長発言・一般質問

6月20日(金)午後1時~5時

【再放送は21日(土)の同時間】

会派の変更

4月1日付けで「台東区議会民主党」と、「台東区議会みんなの党・無所属クラブ」は解消して、「たいとう21」を結成しました。

- 幹事長 木村 肇
- 副幹事長 堀越秀生
- 政調会長 田中伸宏
- 副政調会長 阿部光利
- 副政調会長・会計 鈴木一郎
- 富永龍司